



二葉楼 為八木忠七氏
鉄舟山岡高歩書

第一ギャラリー

山岡鉄舟展



第一会場：小川町立図書館

期間：平成29年6月15日～6月25日



鉄舟書間



昇り龍

「忠七めしの釜と賛」
この釜を日々たきなば
福祿寿中より湧きて
尽きる期はなし



十悔

- ・師と仰ぐ人にあつたらすぐ学ばないと後悔する
 - ・賢者にあつてその教えを受けないのは後悔する
 - ・主君につかえて忠義を怠れば退いたあと後悔する
 - ・親に添って孝行をしないのは失った後後悔する
 - ・義を見てそこでなにもしないことは後悔する
 - ・危機にあつてそこから離れなければ陥ったあと後悔する
 - ・国を治めているものが贅沢やおごり高ぶれば国が乱れる
 - ・財を得て何もせずただ遊興をするとき財を失ったとき後悔する
 - ・因果応報を信じないものはそのときになって後悔する
 - ・菩提(先祖・神仏)を信じないものは死ぬとき後悔する
- 万事この中の一つでも行わなければ悔いても悔やみきれない
あなたに勧めるは平素よりこのことを行い悔いのないようにならなければならない

第二会場 割烹旅館二葉

第二ギャラリー



精神一到何事不成
正四位山岡鉄太郎書



かたつむり富士に
のぼらば登べし



龍



鶴



龜



祿



壽



鉄舟の帽子と賛

馬車ならで我乗物は
火の車可けとる鬼の
たゆるまもなし



一刀流系譜
明治十九年三月三十日
忘中村氏儒 鉄舟高歩書

持ち古し見るもきたなき此の帽子
他人称者をくり参ら須
中村氏へきたなき本をし贈りけるとき

六曲半双屏風

笠画賛
上見れば及ばぬことぞおおかりき
かさきてくらせ巳が身の上

髑髏画賛
小しけなき此しやれはあなかしこ
めで度〇〇是よりはなし

活囊 (かつのう)

小槌画賛
我槌は宝打出す槌でなしのらくら
ものの〇〇打槌

案山子画賛
たおれても弓矢はすてぬ
かかしかな

瓢箪画賛
瓢箪はふらふらすれど馬鹿でなし
中がしきって世渡をする

かたつむり画賛
かたつむり富士へのぼらばのぼる
べし精神一到何事不成



鉄舟現存自用印と賛

至誠如神 山本玄峰書

海舟書
花気渾として百花香るが如し

泥舟書
流水自深花自落
空山為几石為壩

陽春布徳澤
(ようしゅんのとくたくをしく)